

小林 秀彦

改革ネットワーク(青の会、市民の声、シリウス、大河の会、日本共産党)

ことしの米の収量減少へ営農支援を

質 今年産の米の作況指数は96の「やや不良」となった。農家からは、近年にないほど収量が少ない、との声が出ている。市としても農家が営農を継続できるように対応策を検討すべきではないか。

答 22年の異常気象の際、作況指数が県北で94の「不良」、米価も下落したことから、県では営農維持緊急支援資金を創設し、これに市、JAが利子補給することにより実質無利子融資とした。ことしは作況指数が96であり、また米価も一定水準にあることから、現在のところ営農支援は考えていないが、今後、県の動向や農家の状況を注視していく。

福祉灯油の実施を

質 石油価格が高い状況が続いている。これから年末、1月、2月の灯油最需要期を迎え、高どまりが続くと予想される。特に低所得者等の暮らしに大きな影響を与える。そのためにも福祉灯油の実施を。

答 市消費生活相談所の調査によると、市内の灯油宅配1リットル当たりの小売価格は、10月に100円80銭と最も高くなつたが、その後値下がりになっている。本市では、これまでも冬期間に1000円を超えること見込まれる場合に、実施を検討することとしていることから、今後の灯油価格や国、県の動向を注視しながら、判断していきたい。

その他の質問事項

- 消費税増税による市民への影響
○洋上風力発電事業

安岡 明雄

改革ネットワーク(青の会、市民の声、シリウス、大河の会、日本共産党)

老人クラブの活動環境への後押し

質 老人クラブの構成員は、自治会などで主力として活躍している反面、クラブ数、会員数は減少している。活動環境を支援することで、活動人口の増加と健康寿命の延伸につながる。どう後押しするか。

答 これまで各クラブに対する補助金等の支援のほか、能代市老人クラブ連合会へ高齢者の生きがいと健康づくり事業を委託し、スポーツ大会の開催やカラオケ教室等、趣味活動の場を提供してきた。近年はその参加者もふえ、新たな単位老人クラブも組織されている。引き続きこれらの取り組みを実施し、連合会等と連携を図りながら、活動を支援したい。

小規模多機能自治に取り組むこと

質 地域のことは、地域の人が一番よく知っている。さまざまな地域課題を、住民みずから解決しようとするのが、小規模多機能自治。市の人口減少、高齢化が進む状況を見ると、検討するべきではないか。

答 本市において、類似する取り組みとしてまちづくり協議会が組織されており、その取り組みをさらに広げていくことで、地域づくり活動等を行う活動人口の増加にもつながると考えている。今後も状況に応じ、まちづくり協議会設立に向けた説明会開催等の支援に努めていくほか、小規模多機能自治のあり方について、情報収集、調査・研究を進めていきたい。

その他の質問事項

- 事業効果の検証と新年度予算編成
○北高跡地の活用方針を示す時期では
○高レベル放射性廃棄物最終処分場の考え

島 貞一郎

改革ネットワーク(青の会、市民の声、シリウス、大河の会、日本共産党)

(仮)八峰能代沖の秋田弁護士会の意見書

質 (仮称)八峰能代沖洋上風力発電事業環境影響評価に對する秋田弁護士会提出の意見書について、適切に調査、予測、評価すべきであるとの意見に對する市の考えは。

答 事業者は複合的・累積的な環境影響評価について、騒音等に関し、周辺の既設及び計画中の入手可能な事業諸元に基づき予測評価を行うとしている。市としては県へ送付した意見書で、複合影響について可能な限り最新の知見により確認するよう述べている。事業者はみずから示した見解を踏まえ、今後、各項目を適切に調査、予測及び評価していただきたい。

市民生活に資するエネルギーのまちは

質 FIT(固定価格買取制度)で太陽光や風力発電が急速に普及したものの、北海道胆振東部地震の大停電等により大きな曲がり角にきていると思うが、エネルギーのまちをどのように考えるのか。

答 エネルギー情勢は刻一刻と変化し、それに対応するために国の制度等も見直されている。市民、地元企業が大きな恩恵を享受するためには、こうした現状を的確に捉え、対応することが重要と考える。引き続き情報収集に努めながら、未来の活力の向上や安全・安心のまちづくりに取り組んでいきたい。

その他の質問事項

- 沿岸から遠洋への転換は
○(仮称)能代港洋上風力発電事業
○水素エネルギーに関する市の見解